

【第 118 回対策本部会議】 1 月 26 日

知事／昨日の政府対策本部会議で、佐賀県がまん延防止等重点措置区域に追加された。期間は、1 月 27 日から 2 月 20 日までの 25 日間。詳細を各部長から説明し、県民の皆さまにお知らせする。

政策部長／まん延防止等重点措置の全般を説明する。

対象区域は、佐賀県全域。 期間は、1 月 27 日(木)～2 月 20 日(日)。

飲食店の皆さまへのお願い

営業時間の短縮

- 認証店は、21 時まで。酒類の提供はできる。
- 認証店以外は、20 時まで。酒類の提供は終日できない。

対象

飲食店、喫茶店、遊興施設、結婚式場等のうち、飲食店営業許可を受けている店。宅配、テイクアウトのみの店は対象外。

あわせて、大人数、長時間の会食の自粛をお願いする。

県民の皆さまへのお願い

- ・不要不急の旅行や帰省など、県境をまたぐ移動を控えてください。
- ・混雑した場所や感染リスクの高い場所への外出や移動の自粛。
- ・感染対策が不十分な店舗の利用の自粛。時短要請時間内の店舗の利用。
- ・マスク着用、こまめな手洗いなど、基本的な感染予防対策の徹底。

事業者の皆さまへのお願い

- ・人が多く集まる集客施設の感染防止対策の協力。
- ・職場の感染防止対策の協力。
- ・職場のテレワークや時差出勤などでの出勤者数削減の取組の推進。
- ・県民生活・経済に欠かせない業務を行う事業者は、感染防止対策とともに、感染者や濃厚接触者が発生しても必要な業務が継続できるよう協力をお願いする。

産業労働部長／時短要請協力金は、議会で予算案が議決された。

1 月 27 日から 2 月 20 日まで 25 日間の全期間を協力した店舗に対し、1 日当たり 3 万円から売上高に応じ交付する

現在、1日50件程度の認証店申請がある。「現地認証チーム」を立ち上げ、2人1組の22班体制で、現場を確認する認証を進めている。昨日から活動を開始し、初日は77店を認証。産業労働部以外に県税事務所、農林事務所、土木事務所、工業技術センター、東部工業用水道管理事務所の職員の協力を得ている。

認証の基準を満たしていたら、店内に来店客向けの注意喚起の張り紙を貼り、認証店ステッカーを店舗入り口などわかりやすいところに貼ってもらう。

文化・スポーツ交流局長／“佐賀支え愛”宿泊キャンペーン第3弾の新規予約は、受付を停止した。予約済み分は、引き続き利用できる。

福岡県、長崎県から予約した人は、31日以降の割引が停止される。30日までにキャンセルの手続きをすると、キャンセル料が無料になる。

教育長／児童・生徒の感染が非常に多い。昨日は、全体の3割近くが児童・生徒だった。特に、小学生が多く、現時点で小学校5校にクラスターが発生。小学生は、家庭や学校で密になりやすく、感染しやすいと推測している。

まん延防止等重点措置の適用に伴い、家庭、職場、学校での感染の連鎖を絶つため、学校での感染症対策をより一層徹底する。不織布マスクの着用や手指消毒、教室の換気など基本的な感染予防策の徹底を、本日、県立学校、市町教育委員会、私立学校に通知する。

部活動は、県外との交流を1月13日から自粛している。まん延防止等重点措置の期間中、県内交流及び宿泊を伴う活動を自粛し、通常活動している場所での活動に限る。

また、部活動での感染を防止するため、

- ・あらゆる場面でマスク着用、3密の回避など感染対策の徹底。
- ・共用する道具・器具等の使用前後の消毒の徹底。
- ・感染リスクの高い食事の場面を避ける活動時間の設定。

以上のことを、本日、全県立学校、市町教育委員会、私立学校に通知する。

県教育委員会は、学校現場や市町教育委員会と力を合わせ、第6波を乗り切りたい。

健康福祉部長／感染者数は、13日から100人台が5日間続き、18日から200人台になった。昨日は323人と過去最多。

年代別では、40代以下が8割。若年層が多く、子供がいる家庭が多いのが特徴。小学生、保育園児の感染も多くなった。

昨日時点の病床使用率は37.4%、重症者はいない。中等症の病床使用率は9.4%。ホテル使用率は、38.1%。自宅療養者は、1,431人。

全体の療養者数に占める中等症の割合は変わっていない。中等症の病床使用率が上が

っているのは、感染者の全体数が増加しているため。

県民の皆さまには、感染症対策の徹底をお願いします。

ワクチン接種調整チームリーダー／県の大規模接種会場で 3 回目のワクチン接種を 2 月 7 日から開始する。場所は好生館。

・昼の接種は、10 時から 16 時。接種日は、11 日、12 日、19 日、26 日。

・夜の接種は、18 時から 21 時。接種日は、7 日、8 日、10 日、17 日、18 日、24 日、25 日。

モデルナのワクチンを使用。県内在住・在勤で、市町から 3 回目の接種券が送付された人のうち高齢者施設等の従事者と 65 歳以上の高齢者が対象。

予約方法は、県の HP 等で知らせる。

知事／明日から、まん延防止等重点措置が始まる。

感染者数が、月曜日から 3 日連続で最多を更新する見込み。改めて、現在の状況を、県民の皆さまに伝える。

ループ感染があちこちで起きている。起点はさまざまだが、大人から子供に感染し、子供が通う学校、幼稚園、保育所で広がり、それがまた各家庭、職場に感染していくという連鎖が起きている。

感染のループの中に 3 世代同居家族があり、祖父母が感染したり、職場に高齢者施設や病院があると、入院患者が増え、病床を圧迫してしまう。救急医療、通常診療を守るために、まん延防止等重点措置で、この連鎖を減らしたい。

小学校、幼稚園、保育所の感染が、昨日は全体の 3 割。この年代の子供に、正しいマスクの着用や密を避けるようお願いするのはしのびない。しかし、ここは大人も含め、厳格な感染症防止対策で、感染の連鎖を切りたい。

家庭内感染は、やむを得ない。そのため、ほかの場所での感染を減らす努力をする。まん延防止等重点措置で時短要請をした飲食店の皆さまにも協力してもらい、感染者の増加を緩やかにし、ピークアウトに持っていきたい。

改めて、保健所、医療現場の皆さん、介護、福祉、保育所、教育現場の方々、行政関係者に感謝申し上げます。佐賀県は慈しみの県、引き続き、誹謗中傷は決して行わないようお願いします。

佐賀県は、真っすぐに皆さんと共に対策に取り組んでいく。チーム佐賀・オール佐賀で乗り越えたい。